
世界を渡った仮面騎士

Aruto

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界を渡った仮面騎士

【Nコード】

N3595H

【作者名】

Aruto

【あらすじ】

ある青年は本来事故で亡くなるはずだった親子を救い自身が死んでしまう。そこにとある二人の人物が新たな器と力を青年に与える。新世界を風が吹き抜ける。駆け抜ける、その運命

プロローグ 【修正版】

この日、僕は死んだ。

実際に起こった事であるが、街に出かけて交差点で信号待ちをしていた。この日は待ちに待った【魔法少女リリカルなのはA・S】のフィギュア、ウゝオルケンリッターの烈火の将・シグナムを購入したのだ。

（早く帰って飾りたいなあ）

そう思いながら信号が青になるのを待っていたんだっけ。

そんなオタクな自分だが運動は平均より少し出来るくらいで、平凡な僕の目の前で

悲劇がハジマッタノハ…

横断歩道が青に変わり、渡り始めた僕の前から親子二人の、父親と娘と思わしい人達が来た。

仲が良く見える親子だったが、

死の福音が

ナリヒビク

突如、赤信号をぶち破ってきた大型トラックがその親子に向かって行った。

その後は、正直考えていなかった。

その親子の元に向かい、その二人を車線から押し出した。

(よし！後は僕が…)

出るだけだ。そう言おうとして、

意識が飛んだ。

『生きていか？』

不意にそんな言葉が聞こえる。その時の僕にはその声が誰の音が聞

こえてくる。

僕は生きたい。まだ、何も夢や理想を叶えてないし、出来てもいない。

『叶えてやろう、その願いを』

そんなに簡単に叶うものか。神様でも難しいだろうに、というか神様なんて所詮は不確かな存在でしかない。其なのに“叶える”何て不確かな…

『それでも、貴方は世界を廻らなければなりません。しかし、その象徴たりし物が有りません』

世界を廻る？ どういうことだ？ 意味が分からない。

というより、話す人が変わってる？

『ライダーギア “ ” を使って廻ってもらっしかない。寿命の方は心配ない』

『貴方の器を“オルフェノク”として覚醒させて、更にファイズアークセルとポインターによる独自機能を新たに搭載させます』

は、破格すぎ?!

『さあ、どうする(します)？』

生きたい、生きたいです。何でこうなったのか分からないけど、生きていれるなら。そうして僕は新たな命と器、更にはライダーギア “ ” を手に世界を渡った。

ブローグ 【修正版】（後書き）

更新速度は遅いですが、よろしくお願ひします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3595h/>

世界を渡った仮面騎士

2011年1月8日02時15分発行